

わかばどよみ

新緑の季節のことを「若葉時」と言います。
この時期、若葉に降りそそぐ雨は「若葉雨」。
また、この頃に吹く風は「若葉風」や「緑風」とも
呼ばれる心地よい風が吹き、汗ばむ身体を癒します。
若葉雨が振るたびに、緑は鮮やかさを増すようです。

新しい元号、
令和になりましたね。
ことねぎだよりも
新しくなりました！

4月初旬には、美山・亀岡では季節外れの降雪があり、
昼夜の気温差も大きかったですが、
5月に向かうにつれ、徐々に気温も上がり、
日中は小鳥のさえずりがBGMでずっと流れ、
春の訪れを感じ、自然の中で仕事ができる喜びを実感。
ふと、我に返ったときにまわりの山々や木々、
小川などを眺めると改めて自然の雄大さを感じます。

ことねぎだよりも

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

NO.144
2019年5月号
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

春葱

今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

去年の11月頃に植えた京都市内と亀岡の畑から春の葱をお届け

本格的な冬を目前にして、徐々に気温が下がる中で、一冬を頑張っ乗り越えてもらうよう丁寧に植え、
厳しい冬を乗り越え立派に育ったねぎ。

頑張っ育ってくれたねぎですが、一方でこの時期は葱坊主が多く顔を出す季節です。

花が綺麗に咲くと皆さんに喜ばれますが、同じ花を咲かせようと頑張っ
いるねぎたちは、実は農人たちにとっては大きな悩みの種。

葱坊主があると葉が固くなってしまふので「美味しさ」を追求するために、
咲かせないように、咲く前に収穫できるようにしています。

4月から5月にかけては、収穫するときに、より良い状態のねぎを工場へ
持ち帰るため、いつもより選別の時間を費やして収穫カゴへ入れています。
そういった手間暇をかけ、自信を持って良いものと言える春葱です。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

夏に向けての畑づくり

この時期は6月下旬から夏に向けて
のねぎを育てる為、これまで冬で
お休みをしていた美山も含めた全地
域での畝立て・定植がスタート！特
に畝立ては雨が降るとできないので、晴れ間が続いた時を見計らい、
各圃場で畝立てが行われます。人数が限られるので、美山・亀岡・京
都市内の各リーダーが連携を取り人員配置を行っています。良い畝を
立て、美味しいねぎが育てられるように頑張っかけています。



土の中に石など入っていると大変です...

畝をまっすぐ道線に立てる
ことを意識！畑もアート！



山と桜の木の景色がよかったです

フレッシュ新農人たち

今年の春、畑には4名の若手が仲間入り！皆、最初は収穫班として、
慣れるまでの筋肉痛と戦いながら奮闘中。また、彼らを指導するのが昨年同じ新入社員として仲間入りした先輩社員の農人たち。彼らは1年の経験を経て立派に成長し、この春からは教える立場になりました。先輩になった事で、教える事の難しさや成長を間近に見れる喜びを感じています。

先輩農人たちもまだまだフレッシュ！



筋肉痛だけど笑顔！



よろしくお願いします！

2019年度入社式

新しい時代への変わり目という
タイミングで迎えた仲間9名と
一緒に会社を創っています！